

令和3年度 学校関係者評価委員会 会議録

岡山情報ITクリエイター専門学校

1. 基礎情報

(1) 会議日時・会議場所

令和3年8月5日(木) 15:30~16:20 大原学園岡山校 302 教室

(2) 出席者

①学外委員 岡 了 様(株式会社トスコ 総務部長)

和泉 裕子 様(株式会社 ENGI 所長)

②学内委員 内田 康則 (学校法人大原学園岡山校 校長)

田中 雅子 (学校法人大原学園岡山校 校長)

竹中 永吾 (学校法人大原学園岡山校 教務1課課長)

山田 真弓 (学校法人大原学園岡山校 教務2課課長代理)

2. 会議録

(1) 挨拶 大原ビジネス公務員専門学校岡山校 (学校長 内田 康則より)

(2) 令和2年度自己点検概要報告 (教務1課課長 竹中 永吾より)

令和2年度における自己点検・評価については、全般的に良好な結果であった。

教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、その理念を達成するための事業計画の策定、研修制度の確立を通じて有為な人材育成が行われている。教育成果についても、就職実績・公務員最終合格実績ともに高い実績を出している。学校運営として、予算計画・執行は規定に従って適切に行なわれており、財務状況も安定している点を報告した。

(3) 重点項目報告および学外委員からの助言

①社会のニーズ等を踏まえた将来構想

現状・達成指標	具体的方策	学校関係者の評価・提言
中長期の視点で地域・教育内容に関するニーズを意識し新規コース設置や教育の見直しを検討している。	目まぐるしく変化する教育内容へのニーズをよりスピーディーに調査・分析を行い、教育に取入れる柔軟な体制強化を進める必要がある。	今までは色んな情報を持っている事が能力として認められていたが、現代はインターネットなどで情報収集が簡単に手に入るようになり、得た情報をそのまま発信するだけの人材より、得た情報を自分で考え、取捨選択した上で発信する人材が求められる。

②資格取得率の向上と実践的な知識習得

現状・達成指標	具体的方策	学校関係者の評価・提言
学園としては企業等を対象にしたアンケートの実施および教育課程編成委員会等で全国的な状況はある程度把握できている。ただし、開校初年度というともあり、地元については今後更なる把握が必要である。	今後は地元企業・官公庁担当者より情報を収集して状況を確認できるような体制を構築していく。その中で就職における県外流出率の低下を目指し、地元活性化の一助としていきたい。	新入社員に対して改めて志望動機、他社との比較などを確認している。また、新人研修後や入社2、3年後にOJTを通じて、どの様な所にやりがいを感じるか、また逆に辛いと思った場面はどの様な所かなど、勤務年数に応じてアンケート実施し、情報収集を行っている。

③地域活動を通じた社会性の向上

現状・達成指標	具体的方策	学校関係者の評価・提言
<p>事業計画における最重要課題の1つとして退学率の低減に向けた取り組みが図られている。</p> <p>近年、経済的理由、精神疾患等で退学を余儀なくされる学生が増加している。</p> <p>退学可能性がある学生の早期発見のために、教員の学生指導力（コミュニケーション能力）の向上、事例に基づく指導方法の確認、担当者間の情報共有を実施している。</p>	<p>家庭と連携した指導を実現できるように、退学の兆候が発見された段階で、保護者との連絡を取れるようにする。</p> <p>近年の傾向として退学の兆候を見せず、突然音信不通になる学生がいる。このようなケースは最終的に退学となるケースが殆どであるが、教員の負担にも繋がっている。</p>	<p>やりがいのある仕事であっても、割に合わないという理由で退職する人が多く、その理由が目標を持って仕事をしていない事がある。まずは目標を見つけてもらい、その目標に対して継続的にフィードバックする事が重要である。</p> <p>また抱えている問題に対して、個々に合わせて傾聴し、明確な答えを出してあげる事が信頼関係にも結び付く事となる。</p> <p>自衛隊の場合は基本的には団体行動が重要であるため、事前に確認はするが、実際に入隊してから苦手だったと気づく場合もある、そのような隊員に対して親身に対応してあげる事が重要である。そのために、新人職員の行動を常に意識し、長年の経験で少し不審な行動が出始めたら、情報共有し速やかにアプローチし悩みを聞き解決してあげる事が信頼と信用に結び付き、仕事の継続に結び付ける事が出来ると考える。</p>

④課外活動に対する支援体制を整備

現状・達成指標	具体的方策	学校関係者の評価・提言
<p>行事・クラブ活動については、希望者を中心に活動できるように体制を整えているが、コロナ禍の為、活動は行えていない。ボランティア活動は近隣地域の清掃や、学校所在地自治体等のボランティア活動を紹介しており、希望者が参加している。</p>	<p>クラブ活動はもとより、コロナ禍で実施ができなかった行事を含めた課外授業の整備を行っていく。</p>	<p>岡山市の商店街で開催しているお祭りのイベントボランティアがある。老若男女集まってきますので、楽しくボランティアに参加する事が出来る。ただ目的を持たずにボランティアに参加するのでは意味がなく、就職活動の一環としてだけではなく目的をもってボランティアに参加する事が大切である。</p>

(4) 学校関係者評価委員会 総括

開校初年度であったが、学園の教育理念に基づいた運営方針が明確に定められており、その理念を達成するための事業計画の策定、研修制度の確立を通じて有為な人材育成が行われていると考える。昨年度は今後の教育体制の礎を作るための1年間とし、①資格取得の指導体制とカリキュラムの構築、②就職等進路に関する支援組織体制の確立、③地域活動を通じた社会性の向上の3点を中心に体制構築、学園基準を主軸としながらも地域に即した内容・手法の改善を図っている。

資格取得の指導体制とカリキュラムの構築については、学園として「新教育課程」のカリキュラムを導入しており、岡山校としてもこの教育課程を基準に指導が行を行いながらも、入学者の適性に合わせて手法については創意工夫を施した。結果としては概ね高い合格率を維持できているものの、分野別には課題を残す結果もあるため、教員の専門知識学習及び指導力向上に取り組むたい。

就職等進路に関する支援組織体制の確立については、担任制度の下具体的な活動指導、学内での企業・官公庁説明会開催等を行い、就職支援体制の基本的な部分は確立されたと考える。今後は内定率100%と学生のキャリアプランに沿った就職の実現を目指し、効果的な指導の模索や情報収集を継続して行っていく必要がある。

地域活動を通じた社会性の向上はボランティア活動を中心に学生の自主性に委ねている。しかしながら、学校から提供した活動の参加者数や、参加があっても一部の学科に偏っている場面もあり、課題が残る状況である。今後は偏りがないように、情報発信の工夫や様々な学生のボランティア活動参加機会を設けていきたい。

以上をふまえて、岡山情報 IT クリエイター専門学校今回の自己点検・評価報告書の内容については概ね適正に運営されているとの評価をしている。

以上

作成：令和 2 年 8 月 7 日
文責：竹中 永吾